

第21回 健康・医療戦略参与会合

2022年6月7日

一般社団法人 日本医療機器産業連合会
(JFMDA)

会長 三村孝仁

健康・医療戦略の変遷と次なる課題への対応

第1期 (2014年)

● 世界に先駆けて迎える超高齢化社会への対応

- ・ 健康長寿社会の実現
- ・ 医療ICT活用による効率的・効果的な健康医療サービス
- ・ ひとりひとりに合った、多様なヘルスケアサービスの提供
- ・ 医療の国際展開

第2期 (2020年)

● 第1期の課題への対応

- ・ 研究開発予算の戦略的・重点的配分(6つの統合プロジェクト)
- ・ ムーンショット型の研究開発
- ・ 匿名加工情報の医療分野の研究開発への利活用推進
- ・ 官民ファンドによるベンチャーへの資金支援とイノベーション人材の育成

COVID-19

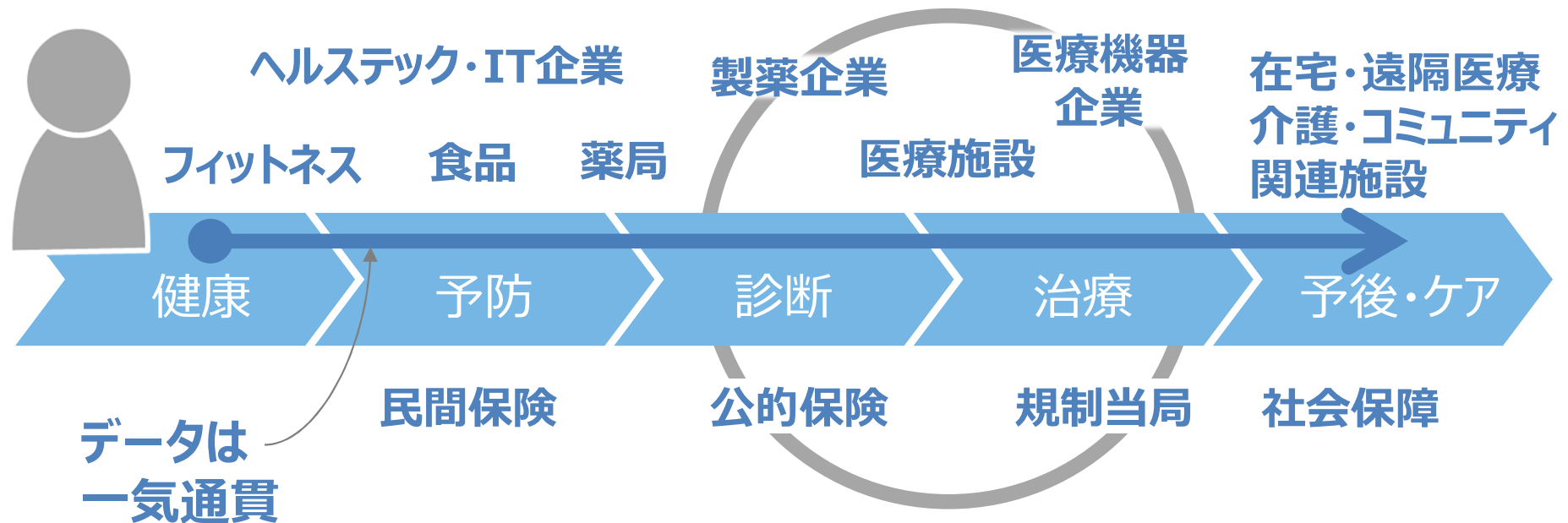
これからは

● ポストコロナで加速する医療のパラダイムシフトへ対応

1. 医療機器基本計画重点5分野への開発投資
2. 健康から予防まで広範なデータ利活用が行えるよう投資
3. 医療効率化・医療者の負担軽減に資するイノベーションへの投資
4. 医療を止めない、安定供給の新たなしくみづくり

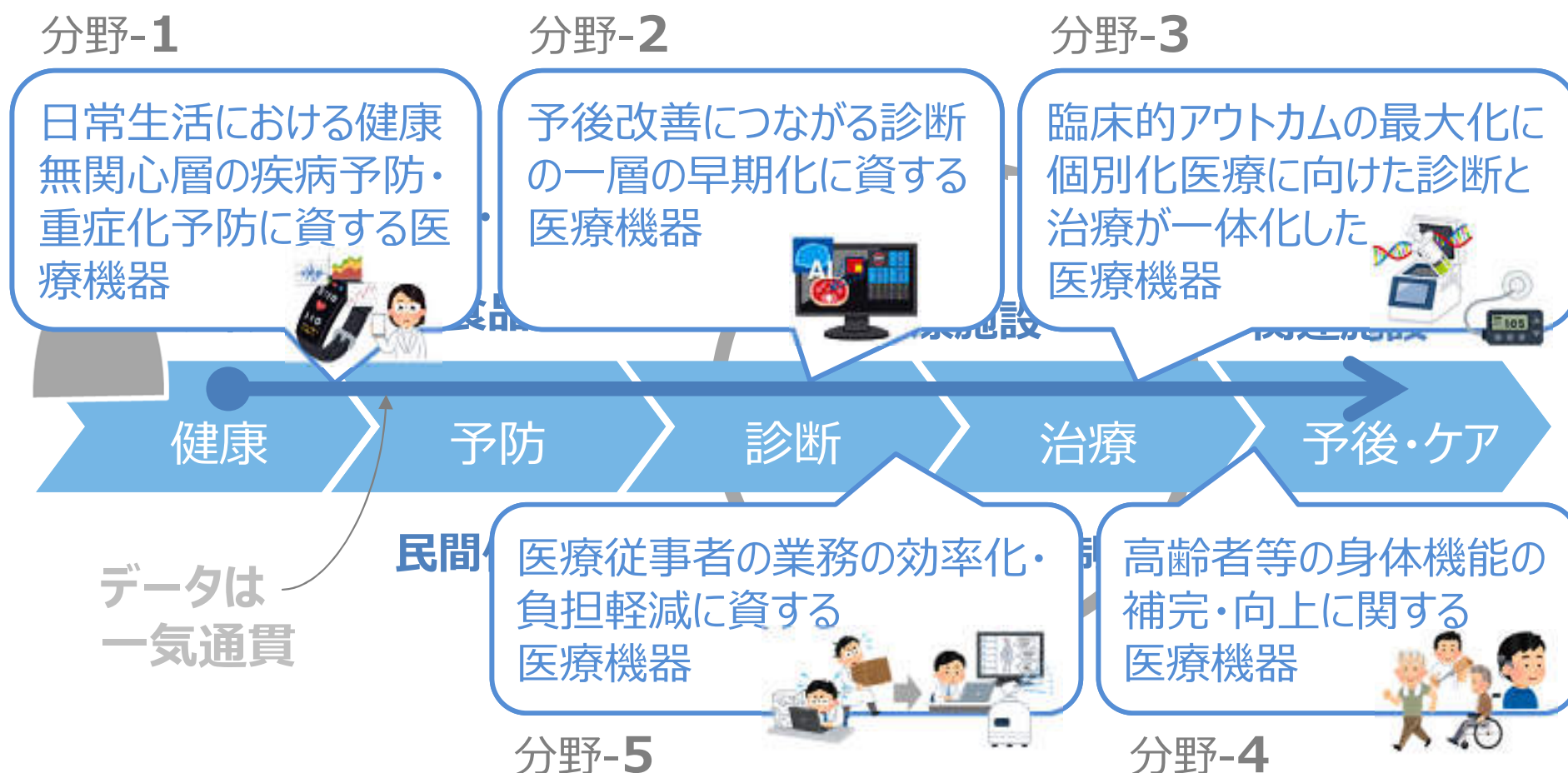
ポストコロナで加速する医療のパラダイムシフト

健康から予後までをシームレスにケアする患者中心の医療



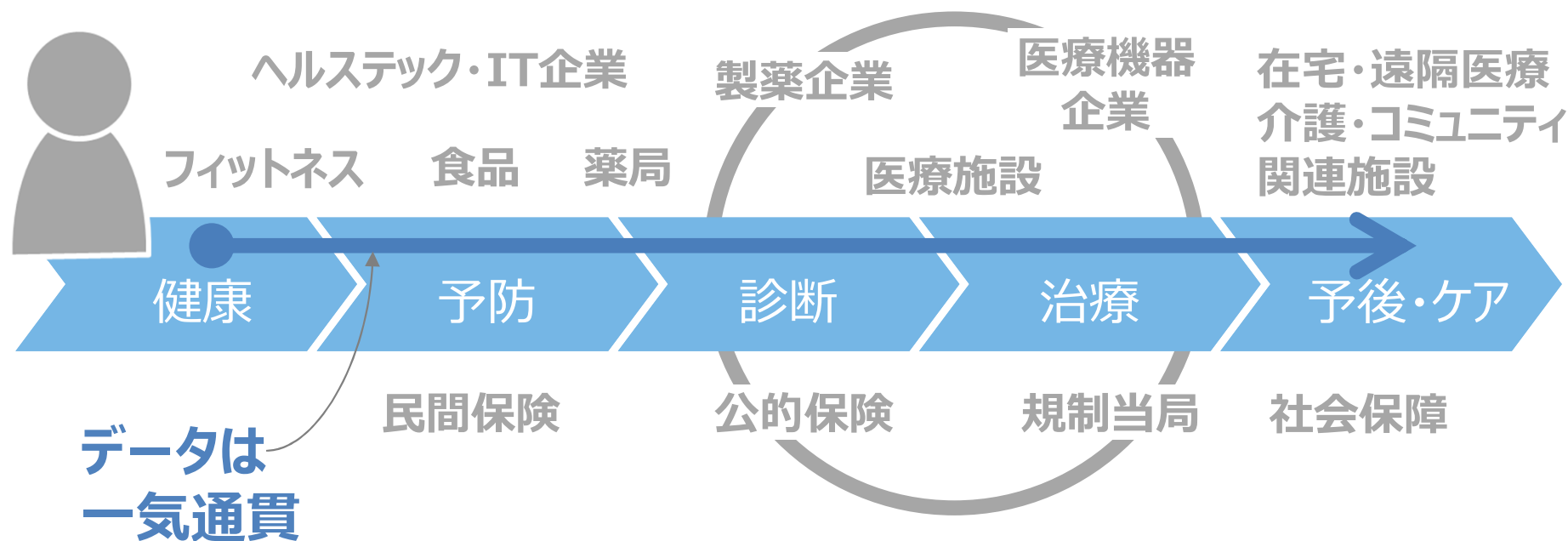
1. 医療機器基本計画重点5分野への積極投資

閣議決定された5分野は、社会・医療ニーズに重点をおいている



2. 健康予防から予後ケアまで、シームレスに広範囲なデータ利活用が行えるようインフラ投資

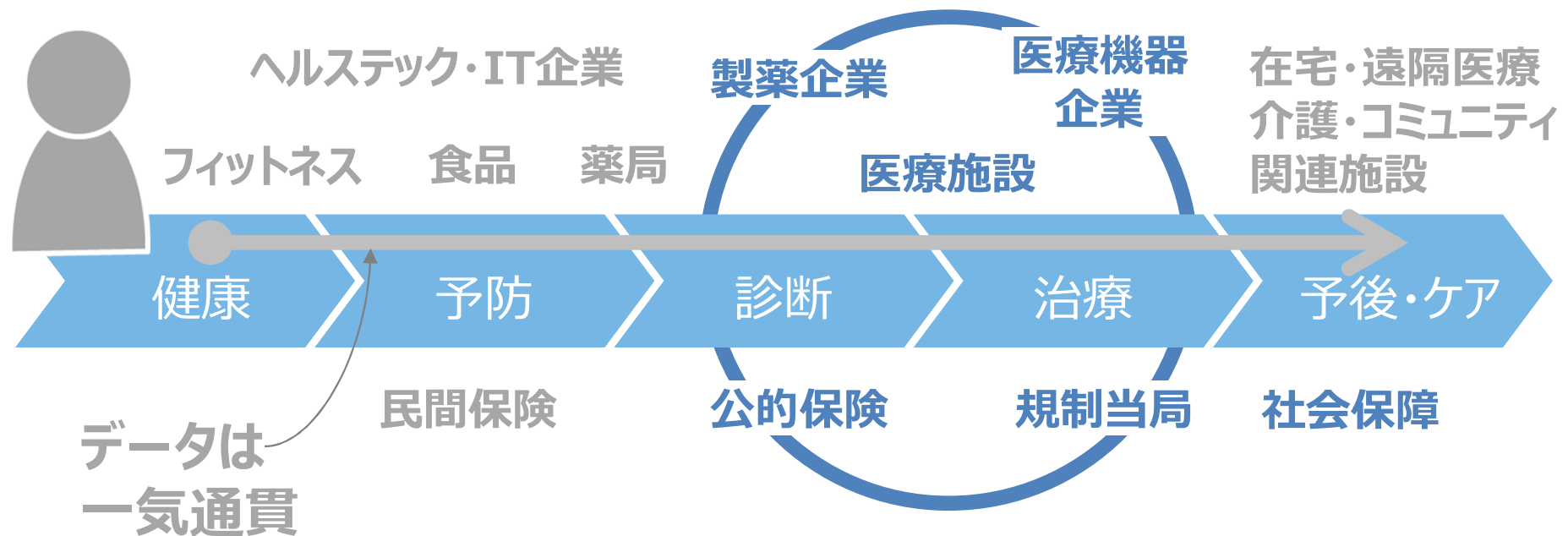
ゲノム・カルテデータに留まらず、健康から予後まで、在宅・遠隔モニタリング含め、患者全体のフローを把握することが重要



3. 医療の効率化、医療従事者の負担軽減に資する イノベーションの推進支援

生産人口減少による従事者の不足が課題となり、医療の質向上と効率化を同時に達成するための医療システムが求められる。

実現には、SaMD等製品やサービス、ビジネスモデルの創出が必須だが、効率化の理論構築をするプロジェクトも重要



4. 医療を止めない、安定供給の新たなしくみづくり

コロナ禍、必要不可欠な医療用製品の供給不足が発生し、必要資材の局地的な不足、取り扱える人材の不足など、医療継続に支障を来す課題に直面した。今後も多発が予想される自然災害、国外での紛争等によるサプライチェーンの寸断に対して、安定的に供給するしくみづくりとそのための投資が必要。

- 有事の際に、医療用製品の需要やひっ迫状況をリアルタイム・全国的に俯瞰できる国のデータプラットフォーム構築のための開発
- サプライチェーン把握、原材料・部材の安定確保、最終製品の備蓄などを視野に入れた安定供給体制確立のための産業界と行政が連携した国家プロジェクト

追記．医療用製品において、現下の資材不足・価格高騰化・価格転嫁困難についてのお願い

昨今のウクライナ情勢や円安の影響による部材不足や原材料価格の高騰で、医療機関への納期の遅れや企業収益の悪化がみられる

- 製品の安定供給のために、原材料・部材等を供給する企業に対し、医療機器向けに優先的かつ適正価格での供給を行うよう、国から要請頂きたい
- 診療報酬体系下では、医療機器・資材は他産業のような価格転嫁が困難であり、緊急措置として診療報酬上の適正価格の設定も含めた対応をお願いしたい



医機連

一般社団法人 日本医療機器産業連合会
JFMDA
The Japan Federation of
Medical Devices Associations



医機連

一般社団法人
JFMDA
The Japan Federation of
Medical Devices Associations